

睡眠時無呼吸症候群

(いびき外来)のご案内



睡眠時無呼吸症候群とは

- 寝ているときに、気道(空気の通り道)が塞がり、それによりいびきをかいたり、無呼吸が発生する状態をいいます。
- そのために肺に空気が行かず動脈の血液中の酸素量が減少します。
- 動脈の血液中の酸素量を動脈血酸素飽和度 (SpO2) といい、就寝中に検査器具を取り付けるだけで簡単に測定ができます。



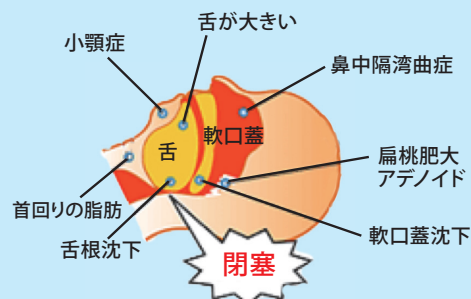
覚醒時の正常気道状態



睡眠による筋力の緊張の低下

閉塞により空気の流れが停止

睡眠中の気道閉塞状態

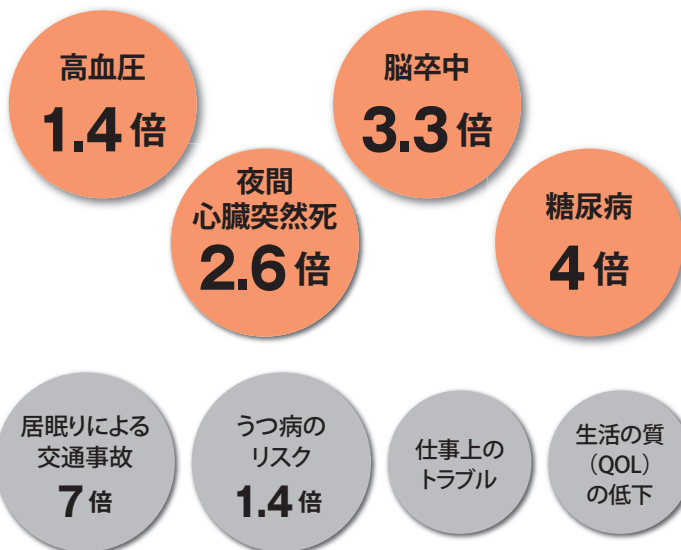


主な自覚症状

- ✓ 起床時の頭痛
- ✓ 日中の強い眠気
- ✓ 倦怠感
- ✓ 起床時の喉の渴き
- ✓ 強いいびき
- ✓ 頻回の中途覚醒
- ✓ 集中力の低下
- ✓ 夜間の頻尿
- ✓ BMI \geq 25

主な併発病・リスク

生活習慣病に悪影響!(健全な人との比較)



診察の流れ

外来受診

- ・医師が診察をし、いびきや眠気、既往歴などに関して質問します。
- ・必要に応じて採血、レントゲン等の検査を実施します。

外来受診で「睡眠時無呼吸の疑いあり」とされた場合

簡易検査

- ・ご自宅で行っていただく検査です。
- ・簡単な検査機器を使って、普段と同じように寝ている間にできる検査です。
- ・いびきや呼吸の状態から睡眠時無呼吸症候群(SAS)の可能性を調べます。

外来受診もしくは簡易検査で「より詳しい診断が必要」とされた場合

入院検査

(ポリソムノ
グラフィー(PSG)
検査)

- ・簡易検査よりもさらに詳しく、睡眠と呼吸の状態を調べる検査です。
- ・15時ごろより、1泊の入院となります。翌朝出勤前の退院も可能です。



治療について

検査の結果、治療が必要と判断された場合、症状や状況に合った治療方法を開始します。
治療開始後は定期的に受診し、治療効果や体調変化を確認します。

治療の種類

CPAP 療法

欧米や日本国内で最も普及している治療方法です。
睡眠時無呼吸を防ぐために、気道に空気を送り続けて気道を開存させておくというものです。

※CPAP装置は**保険診療**下
で貸与されます。



マウスピース

軽度な症状に適した治療法です。
下あごを前方に固定して空気の通り道を開くようにするものです。

(他の医療機関へ紹介します)

外科手術

原因がアデノイド肥大や扁桃肥大などの場合には、手術によって取り除くことがあります。
また、鼻閉を起こす鼻疾患は、CPAPや口腔内装置の治療を妨げるため手術が必要となることがあります。



医療法人社団 顕鐘会

神戸百年記念病院 1階ブロック受付

TEL.078-681-6111 (代表)

※問合せの際に「チラシを見た」とお伝えください

➤ 最寄駅

・市営地下鉄海岸線「御崎公園駅」 徒歩7分

➤ JR兵庫駅よりお越しの場合

・送迎バス 山側出口西側30分毎に運行

➤ JR神戸駅・高速神戸駅・新長田駅(市営地下鉄)よりお越しの場合

・タクシー(約10分) ・市営地下鉄海岸線乗車 御崎公園駅下車 徒歩7分

〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1